

知ることって面白い！

今日の俳句の源流 江戸の俳諧

講師 安藤義雄 氏 江戸東京人文科学研究会主宰 足立史談会名誉会長

宮廷文芸であった和歌の座芸として連歌が生まれ、やがて武家社会に流行して俳諧連歌となり、これが民間に広まっていった。

江戸中期には猫も杓子も俳句を作るようになり、今日の流行の原点となった。江戸に発達した俳句の流派、文芸の地位を築いた芭蕉、更には一茶、西鶴などを通じ江戸の俳諧の面白さに迫ります。

また奥の細道の旅立ちの地、千住と芭蕉のエピソードも楽しく学びます。

回	月日	各回講座テーマ
1	9月 5日	連歌から俳句に至る文芸史
2	9月19日	芭蕉のジレンマ -江戸からの逃避-
3	10月 3日	芭蕉の女性問題の浮上と芭蕉の文学
4	10月17日	嫌われた一茶の生涯と作品、その老いの執念
5	11月 7日	大阪文化を追求したリベラリスト西鶴
6	11月21日	奥の細道、旅立ちの地千住と芭蕉



巢兆芭蕉像、足立区郷土博物館提供

*各月第1、3水曜日 午後2時～4時 計6回連続講座

会場 足立区生涯学習センター
定員 30名(抽選)
受講料 3,000円(全6回分当日会場で支払い)
申込方法 往復ハガキに、住所、氏名(フリガナ)
電話番号、「江戸の俳諧」
と明記の上、下記へ郵送(2名以上の連名も可)
申込締切 平成24年8月22日(水)必着
申込先 〒120-0034 足立区千住 5-13-5
及び 足立区生涯学習センター内 あだち区民大学塾 事務局
問合わせ先 電話 03-5813-3759 (平日午後1時～5時)
共催 NPO法人あだち学習支援ボランティア「楽学の会」
足立区生涯学習センター・足立区教育委員会

